

白鳳丸研究航海報告

- * 航海番号 KH-20-8次研究航海
- * 航海名称
(和文) 海溝海側における海洋プレート上層部での流体循環と熱輸送過程の研究 および 相模トラフ巨大地震の震源断層に沿った流体湧出変動の研究
(英文) Study of pore fluid circulation and heat transport in the uppermost part of incoming plate on the seaward side of the trench,
Study on fluctuation of cold seep through a source fault of great earthquakes along the Sagami Trough
- * 観測海域
(和文) 千島海溝・日本海溝・相模湾海域
(英文) Kuril Trench, Japan Trench and Sagami Bay areas
- * 航海期間 令和2年8月24日(月)～令和2年9月2日(水)
- * 出港日時・場所 8月24日14時 八戸港
- * 入港日時・場所 9月2日11時 東京港
- * 寄港期間・場所 なし
- * 研究課題 海溝海側における海洋プレート上層部での流体循環と熱輸送過程の研究
相模トラフ巨大地震の震源断層に沿った流体湧出変動の研究
- * 主席研究員(氏名・所属・職名・e-mailアドレス ◎は@)
山野 誠・東京大学地震研究所・教授・yamano@eri.u-tokyo.ac.jp
- * 研究内容, 主調査者(e-mailアドレス), 観測項目
 1. 地殻熱流量測定による、海洋地殻内の流体循環と熱輸送過程の研究
山野 誠(yamano@eri.u-tokyo.ac.jp)、
熱流量プローブ及びピストンコアラーによる熱流量測定
 2. 堆積物・間隙水試料採取による、断層近傍での流体流動の研究

鹿児島 涉悟 (kagos@sci.u-toyama.ac.jp)、

ピストンコアラー及びマルチプルコアラーによる堆積物および海底直上水の採取

3. 海底電磁気観測による、太平洋プレート内の比抵抗構造の研究

後藤 忠徳 (t.n.goto@sci.u-hyogo.ac.jp)、海底電位磁力計の回収

4. エアロゾル採取による、大気沈降物質の研究

張 勁 (jzhang@sci.u-toyama.ac.jp)、エアーサンプラーによるエアロゾル採取

5. 堆積物試料採取による、断層活動の研究

芦 寿一郎 (ashi@aori.u-tokyo.ac.jp)、

ピストンコアラー及びマルチプルコアラーによる堆積物採取

6. 海底地形・地層探査による、地質構造の研究

芦 寿一郎 (ashi@aori.u-tokyo.ac.jp)、

マルチビーム音響測深装置、地層探査装置 (SBP) による地形・地質調査

7. 海底長期温度計測による、湧水活動の研究

山野 誠 (yamano@eri.u-tokyo.ac.jp)、自己浮上式熱流量計の回収

* 乗船研究者氏名・所属・職名

山野 誠 ・東京大学地震研究所・教授

木下 正高・東京大学地震研究所・教授

藤田 親亮・東京大学地震研究所・技術専門職員

芦 寿一郎・東京大学大気海洋研究所・准教授

亀尾 桂 ・東京大学大気海洋研究所・技術専門職員

中西 諒 ・東京大学大気海洋研究所・大学院生

後藤 忠徳・兵庫県立大学大学院生命理学研究科・教授

櫻井 未久・兵庫県立大学理学部・学部生

黒田真奈加・兵庫県立大学理学部・学部生

張 勁 ・富山大学学術研究部理学系・教授

鹿児島 涉悟・富山大学学術研究部理学系・特命助教

野口 忠輝・富山大学大学院工学教育部・大学院生

吉田 光佑・富山大学大学院工学教育部・大学院生

大塚 進平・富山大学理学部・学部生

土岐 知弘・琉球大学理学部・准教授

満留 由来・琉球大学大学院工学研究科・大学院生

笠谷 貴史・海洋研究開発機構海洋機能利用部門海底資源センター・グループリーダー

田中 明子・産業技術総合研究所活断層・火山研究部門・研究グループ長
 宮嶋 優希・マリン・ワーク・ジャパン海洋地球科学部・観測技術員
 小松 亮介・MOL マリン海洋事業室・観測技術員

* 測点・測線図

